

もくじ



今月の表紙
『(株)ごんた』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 紀 貞幸きい さだゆき

◆所在地

加古川市加古川町溝之口599-3

◆電話

079-423-0890

◆表紙写真

- ①いらっしゃいませ！新鮮なお寿司をリーズナブルに提供します
(中央が紀社長)
- ②「ドドン！」太鼓の力強い音が出迎えます
- ③広々としたカウンター。この広さを備える寿司店は珍しい
- ④熟練の寿司職人の鮮やかな手さばき
- ⑤女性にも人気の「華花御膳」

1 目次

2 緊急特集 新型コロナウイルス感染症に関する
事業者向け情報ご紹介

7 クローズアップ 「次へつながるチャレンジを」
加古川商工会議所青年部
会長 片平 慎太郎 さん

8 会議所のうごき 新規会員のご紹介 他

11 団体だより 加古川異業種交流会・女性会・青年部

14 会議所からのお知らせ 仕事・生活に活かせる「商工会議所の検定試験」他

17 エッセイ 「土用までは雨ざらし」
前島食品(株)
代表取締役社長 前島 克彦 さん

18 インフォメーション 関係機関からのお知らせ

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <http://www.kakogawa-cci.or.jp/>

「安ん、甲ん、あん、あん」をモチーフに

店内に入ると「ドドン」と響く太鼓の音と「いらっしゃい！」の掛け声。
今月ご紹介するのは、「ごんた寿司」の名で地域に愛されている、(株)ごんたです。

「お店に入って威勢のいい方がいいでしょう？また、私たちがとっても大切な「音」で、どこにいてもお客様の来店がわかる、次の行動に移しやすくなります」と語るのは二代目の紀貞幸社長。

父で先代の紀有幸さんが、若い頃に上司に連れて行ってもらった寿司に感動して1972年(昭和47)に創業、今年で48年目を迎えます。二代目として引き継いだ紀社長は「親の苦労を見ていましたので、当初、継ぐ気はありませんでした。体育教師になりたくて教員免許も取ったんですが、やはりこのまま後継者がいないのはもったいない、と思いました」そして一念発起、料理人の道へ。東京の料亭や新瀧の結婚式場などで修行すること8年、加古川に戻ってきます。当初は勝手の違いに戸惑いもありましたが、有幸さんの「寿司屋の知識」と紀社長の「料亭の知識」を取り混ぜながら店を発展させてきました。「経営者として踏み出したばかりの私に従業員も辛抱強くついてきてくれました。衝突することもありませんでしたが、それもお互い『ごんた寿司』を思っていること。これからは切磋琢磨しながら「ごんた」を盛り立てていきます」と笑顔を見せます。

「この辺りではあまり無い」という大きな水槽から揚げられる鮮魚で作るごんたのお寿司。「父の代から、基本は一緒」ということですが、米は水分量やブレンド量など、気温の変化にあわせて変えたり、メニューも時代の変化にあわせて新しくしています。「ごんたのシャリは父の『お腹いっぱいになってほしい』という思いから、少し大きめです。ある時、女性が残すことが多いのに気づき、家族のアドバイスをもとにできたのが『華花御膳』です。寿司は手まり寿司にして、刺し身や揚げ物など様々な味を楽しんでいただける内容にしました。お昼限定ですが女子会などで召し上がったいただきたいですね」最近では従業員の一言がきっかけで生まれた、甘ダレをかけた炙りサーモンの押し寿司も人気のだとか。

「修行していた料理屋は厨房でしたので、お客様の顔が見えませんでした。でもここは、お客様の顔を見ながら寿司を握れる。笑顔を見れば本当に嬉しくなるし、時にはダメな部分に気付かされることもあります。それらを成長の糧に『太鼓のお寿司屋さん』として、この場所で続けていきたいと思えます」そう語る紀社長の後ろでは、お客様の来店を告げる太鼓の音が鳴り響いていました。